

# 美祢市厚狭川水系 洪水避難地図 洪水ハザードマップ。



日頃の美祢大橋付近

平成 17 年台風 18 号のときには、  
美祢大橋でもこのように増水しました。

## ■ もくじ

命を守るために .....	1
普段からできること .....	3
避難時の心得 .....	5
ハザードマップ .....	別添

# 命を守るために

風水害は、普段からの防災の準備と心構えによって、被害を最小限に抑えることができます。災害についての正しい情報と事前の備えを万全にし、家族の安全を守りましょう。普段できることから始めるのが、その第一歩です。

日頃の行動範囲内に、どのような場所でどんな災害の危険があるのか、調べましょう。そのために、このハザードマップを活用して下さい。台風や豪雨の到来は、「予測できるから」と安易に考えてはいけません。いざという時のために家族間の連絡方法や、避難場所などを決めておき、日頃から天気予報や気象情報などに関心を持ちましょう。

## ■ 浸水範囲と浸水深について

この洪水避難地図（洪水ハザードマップ）は、厚狭川で洪水が起こった時に、浸水する範囲とその深さの「予測」を地図に示したものです。

2日間で252mmの大雨がふった場合（およそ50年に1回程度起こる確率）にどのようにはんらんするかを、厚狭川を管理している山口県が、水防法という法律に基づいて予測を行っています。

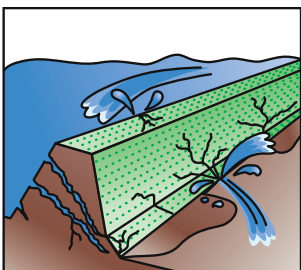
正確な予測となるように計算が行われていますが、厚狭川以外の川の外水はんらんや、内水はんらんは考慮していませんので、この想定外の区域での浸水や、深い浸水が起きることもあります。

この地図を目安に、自分や家族を守るために、洪水時にどのように行動すべきか、どのような備えをしておくべきか、一人ひとりが普段から考えておきましょう。

## ■ 洪水の起こるしくみ

洪水は、起きるしくみによって「外水はんらん」と「内水はんらん」の2種類に分けられます。

### 「外水はんらん」とは？



川の水が増え続けると、堤防や土手が崩れやすくなります。

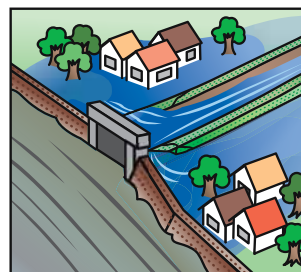


堤防や土手が決壊すると、家や車が押し流されます。

### 「内水はんらん」とは？



小さな川や水路の水は、普段は大きな川へと流れ込みます。



大きな川の水位が上がると、流れ込むことができずに低い土地にたまりはじめます。

## ■ 警報・注意報の基準

注意報・警報	予想される重大な被害	1時間雨量	3時間雨量
大雨注意報	がけ崩れ、陸上交通の運休、低地にある家屋の浸水等	30mm 以上	50mm 以上
洪水注意報	中小河川のはんらん、低地にある家屋の浸水等		
大雨警報	山がけ崩れ、土石流、地すべり、家屋の流失や浸水、道路や耕地の浸水や冠水、陸上交通の障害等	60mm 以上	—
洪水警報	家屋の流失や浸水、道路や耕地の冠水、陸上交通の障害等		

## ■ 雨の強さと目安（1時間雨量のとき）

### 20～30mm の雨

どしゃぶりの雨



側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まります。  
テレビやラジオで、気象情報をチェックしよう！

### 30～50mm の雨

バケツをひっくり返したような雨



道路が川のようになり、がけ崩れや山崩れが起きやすくなります。  
もしもに備えて、避難の準備を始めよう！

### 50mm 以上の雨

滝のようにふる雨



水しぶきであたり一面が白っぽくなり、かさは全く役に立ちません。  
このような雨になる前に、避難を始めましょう！

## ■ 土砂災害

一瞬にして人命や大切な財産を奪う、土砂災害。土砂災害のほとんどは台風や集中豪雨、地震によって発生します。被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが気象情報や前兆現象などに注意して、早めに避難することが大切です。



### !! 土砂災害の こんな前ぶれに注意 !!

- ！山鳴り、木の裂ける音、石のぶつかり合う音が聞こえる
- ！雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- ！川の水が急に濁ったり、流木がまざり始める
- ！地面やがけにひび割れができる

！異様な音がする

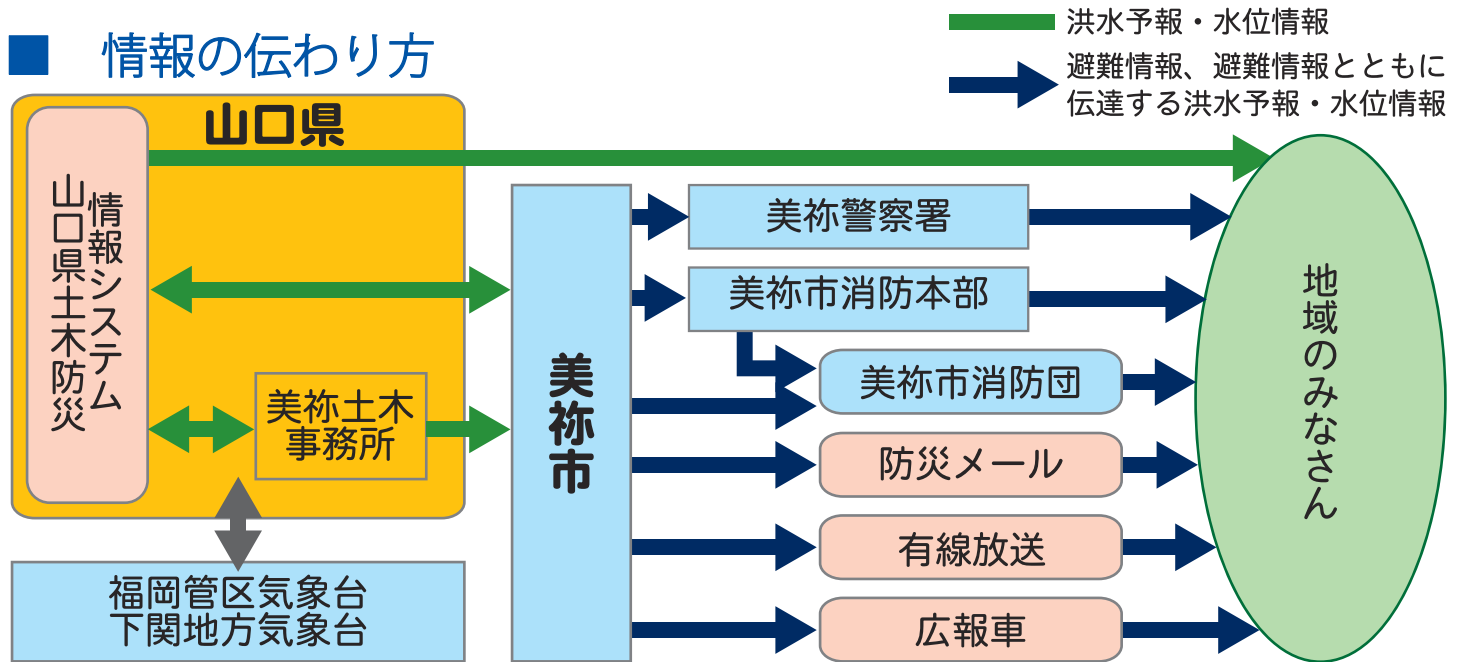
- ！がけからの水が濁る
- ！沢や井戸の水が濁る
- ！斜面から水が噴き出す
- ！小石がバラバラ落ちてくる

# 普段からできること

災害時の正確な情報は、どのようにしてみなさんの所へ届くのでしょうか。最寄りの避難所の確認と、そのときの持ち出し品の準備は普段でなければできません。

さあ、いざというときに備えて、家族で地域で、準備を始めましょう。

## 情報の伝わり方



## 避難時の呼び掛けと取るべき行動

避難情報の種類	美祢市からの呼びかけ例	取るべき行動
避難準備情報	災害による被害が発生する可能性があります。避難に時間のかかる人などは、早めに避難をして下さい。	非常時持ち出し品を用意する 高齢者や体の不自由な方は、自主避難を開始する
避難勧告	災害による危険が高まっています。避難して下さい。	近所に声をかけあって避難所へ避難する
避難指示	災害による危険が迫っています。避難所へ直ちに避難して下さい。	避難所や高台などへ直ちに避難する

## 情報の収集先

下関地方気象台 <http://www.fukuoka-jma.go.jp/shimonoseki/shimo1.htm>

### 山口県土木防災情報システム

河川の水位、雨量、厚狭川の洪水情報や水位の予測、ダム の放流状況、その他の気象情報、防災に関する様々な情報を集めることができます。

《パソコン》 <http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp>

《ケイタイ》 <http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/> 右の QR コードからアクセスを！



### 美祢市防災・防犯メールシステム

市では、気象情報などの防災情報をはじめ、不審な人物情報など、市民の皆さんの安全で安心した生活を確保するために、必要な防災・防犯情報を電子メールにより、携帯電話やパソコンに配信します。登録は無料です。ただし、メールの受信に係る通信料は自己負担となります。

《パソコン》 <http://www.minecity.jp/user/>

《ケイタイ》 <http://www.minecity.jp/user/>

右の QR コードからアクセスを！



## ■ 避難経路の確認

最寄りの避難所は、どこですか？災害は自宅にいる時に発生するとは限りません。職場や学校など、自宅以外の場所からの最寄りの避難所も確認しておき、いざというときの連絡方法や集合場所、役割分担など家族での約束事も確認しましょう。

避難経路は地図に書き込んで、実際に歩いてみます。避難経路に危険箇所は無いかな、避難にどのくらい時間がかかるのかな、確認しておきましょう。



## ■ 持ち出し品の準備

安全な避難のためには、日頃からの準備が大切です。普段から必要な持ち出し品を準備しておき、定期的に点検しましょう。



## ■ 自主防災組織を作ろう

大災害が起こった場合、被害を最小限にとどめるよう、防災関係機関は総力を挙げて防災活動に取り組みます。しかし、大規模な災害の場合、関係機関のみでは、十分に対処できないことが考えられます。

そのため、地域ぐるみの防災活動が、とても重要な役割を果たします。災害による被害を最小限にし、いち早く立ち直るためには、地域ぐるみでの協力体制が絶対不可欠です。自主防災組織とは、住民が地域ごとに団結して、地域ぐるみで防災活動を行うための集まりです。

市では、防災訓練の開催などを通じて、自主防災組織を支援しています。「私たちのまちは私たちが守る」という強い連帯意識を持って、避難訓練や初期消火訓練などに積極的に参加し、「災害に強いまちづくり」を目指しましょう。



### ♡♡ 災害時要援護者を、みんなで守りましょう ♡♡

一人暮らしのお年寄りや、体の不自由な方など、ひとりで避難することが難しい方を、みんなで協力して支援しましょう。

お年寄りや病気の方  
体の不自由な方  
目の不自由な方  
耳の不自由な方  
日本語の不自由な方

必要に応じて、ひもなどを使って背負いましょう。  
不安感を与えないよう、慎重に誘導しましょう。  
腕を貸し、半歩前をゆっくり歩きましょう。  
大きくゆっくり話したり、筆談で伝えましょう。  
易しいことばで、ゆっくりと伝えましょう。

# 避難時の心得

私たち人間は、危険が迫るぎりぎりまで「自分は大丈夫だ」という気持ちを持ちがちです。その結果が「逃げ遅れ」につながります。

「空振りで幸い」という気持ちで、風雨が強まる前に、暗くなる前に、早めに避難を始めましょう。



## 正確な情報を集める

テレビやラジオ、インターネットなどから正確な情報を集めて、必要な人と連絡を取り合い、避難の準備を始めましょう。



## 避難の呼び掛けに注意

強い雨音にかき消されることもあります。  
有線放送や広報車などの呼び掛けに、注意を払いましょう。



## 早めに避難を始める

避難距離が遠い場合や、避難に時間がかかる場合は、特に早めの避難を心がけましょう。



## 戸締まりを忘れずに

避難する場合は、空き巣被害に合わないよう、戸締まりを確実にしましょう。



## 車での避難は危険

浸水すると、車は危険です。路面に水がたまりはじめたら、車を高台へ移動しましょう。移動できない場合は、歩道川へ寄せて駐車し、撤去作業の妨げにならないよう、キーをつけたまま避難しましょう。



## 近所に声掛けして一緒に

一人での避難は、危険です。ご近所に、手助けの必要な方はいませんか？ 家族やご近所で声かけあって、避難所へ避難しましょう。



## 危険箇所を避けて

増水した川の近くや橋を渡ること、大雨の後のがけの近くは大変危険です。  
このような場所は避けて、避難しましょう。



## 足元を確認しながら

避難する場合はできるだけ浸水していない場所を歩きましょう。  
やむを得ず浸水している場所を歩く時は、長い棒などで足元を確認しながら進みましょう。

◆この冊子は、美祢市ホームページのからダウンロードできます。

◆この冊子の情報は、変更される場合もありますので、ご注意ください。

最新版もしくは変更内容については、美祢市ホームページでお知らせします。

## ■ 避難所についたら

### 避難所のルールを守り、みんなで助け合おう

- ・ 避難所についたら受付をすませ、職員の指示に従って下さい。
- ・ 食べ物や飲み水が不足することがあります。乳幼児や妊婦、お年寄りや病人を優先し、譲り合いましょう。
- ・ 避難所では、大きな声で話したり、大きな音を立てないように気をつけましょう。
- ・ 避難所内は禁酒・禁煙です。ゴミなどはきれいに片付け、整理整頓を心がけましょう。

### ボランティアにもご協力下さい

- ・ 災害時には積極的にボランティアに参加し、地域みんなで支え合いましょう。

# わが家の防災メモ

わが家の避難場所 と連絡先	避難場所
	電話番号 (                    )                    -

## ■いざという時の連絡先

名 称	電話番号
美祢市総務課	0837-52-1110
美祢市建設課	0837-52-5220
美祢土木事務所	0837-52-1105
美祢消防署	0837-52-2176
美祢警察署	0837-52-0110
美祢市上下水道課	0837-52-5223
美祢市立病院	0837-52-1700
中国電力宇部営業所	0120-613-270
NTT電話の故障(固定電話から)	局番無し113
NTT電話の故障(ケイタイから)	0120-444-113
災害用伝言ダイヤル	局番無し171

## ■非常時持ち出し品 定期的に確認して、 季節毎に交換しておきましょう。

持ち出し品	確認日	確認日
洪水ハザードマップ		
非常食・飲料水(3日分)		
貴重品(通帳・印鑑・保険証など)		
救急用品		
ラジオ・携帯電話		
乾電池		
懐中電灯		
ナイフ・缶切り		
ロープ		
杖(もしくは長い棒)		
衣類		
毛布		
日用品		
紙おむつ・ミルクなど		
使い捨てカイロ(冬季)		

# わが家の避難所と連絡先

家族の連絡先			避難の援助・支援		
名 前	血液型	電話番号	名 前	血液型	電話番号
			その他の連絡先		

## ●マップに関する問い合わせ先

美祢市建設経済部 建設課 土木係  
〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分326-1  
TEL0837-52-5220 FAX0837-52-5698

## ●河川に関する問い合わせ先

美祢土木事務所  
〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分3449-5  
TEL0837-52-1105 FAX0837-52-0793